

2022年度 ねんど こまき市民「しみん多文化共生」たぶんかきょうせいワークショップ  
 ～こまきみんなで小牧の多文化共生をかんが考えよう～  
じっしほうこく  
 実施報告

1. わーくしょっぷワークショップの概要

(1) かいさいしゆし開催趣旨・目的

こまき小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】を周知するとともに、  
ちょうせん「挑戦すること」の進捗状況の把握に努め、達成状況調査を補完  
しんちよくじょうきようすることを目的に開催した。日本人市民と外国人市民による多文化  
かきょうせい共生の課題についての意見交換を行った。

(2) じっしがいよう実施概要

にちじ日時：8月7日（日）14：00～16：15

ばしょ場所：まなび創造館 多目的室

（小牧市小牧3丁目555番地 ラピオ4階）

たいしょう対象：市内在住・在勤・在学の日本人市民・外国人市民

にほんご日本語でのコミュニケーションをベースにして、外国人市民  
ぼこくごの母国語にも極力配慮しながら、意思の疎通ができる方を  
たいしょう対象とした。

とうじつさんかしゃすう当日参加者数：18名（内、外国人市民は9名）

(3) すけじゅーるスケジュール

<small>こうもく</small> 項目	<small>じかんたい</small> 時間帯	<small>ないよう</small> 内容
1. <small>いっぱんうけつけ</small> 一般受付	13：30	
2. <small>あいさつ</small> 挨拶	14：00	<small>こまき</small> 小牧市多文化共生推進室長の挨拶
3. <small>げんじょう</small> 現状について	14：03	<small>たぶんかきょうせい</small> 多文化共生推進室より、 <small>こまき</small> 小牧市における <small>がいこくじんじゅうみん</small> 外国人住民を取り巻く状況の変化と <small>たぶんかきょうせい</small> 多文化共生推進プランについて説明
3. <small>たぶんかきょうせいじれい</small> 多文化共生事例	14：09	<small>じちかいしえんしつ</small> 自治会支援室及び城山第5区区長から、

ほうこく 報告		く じつじょうおよ かつどう ほうこく 区の実情及び活動について報告
ぶろぐらむせつめい 4.プログラム説明	14 : 19	わーくしょっぷ すす かつた せつめい ワークショップの進め方について説明
ぐるーぶじこしょうかい 5.グループ自己紹介	14 : 27	ぐるーぶない めんぼー かんたん じこ グループ内でメンバーの簡単な自己 しょうかい 紹介
こまきし たぶんか 6.小牧市の多文化 きょうせい かだい 共生の課題について れんしゅう (練習part1)	14 : 37	こまきし かだい にほんじんしみん がいこくじん 小牧市での課題（日本人市民と外国人 しみん とも く 市民が共に暮らしていく中で、困ってい ることや、こうしたほうがよいと思ふこ と）をぐるーぶない かんが グループ内で考える
いけん はっぴょう 7.意見の発表	14 : 52	しかいしゃ かぐぐるーぶ いけん せいり 司会者が各グループの意見を整理して、 ぜんたいきょうゆう 全体共有
こまきし たぶんか 8.小牧市の多文化 きょうせい かだい 共生の課題について (part2)	15 : 02	てーま しちゅえーしょん かぞくせつてい テーマ・シチュエーション・家族設定を し、こまきし かだい にほんじんしみん 小牧市での課題（日本人市民と がいこくじんしみん とも く 外国人市民が共に暮らしていく中で、困 っていることや、こうしたほうがよいと 思ふこと）をぐるーぶない かんが グループ内で考え、まとめ る
ぐるーぶはっぴょう 9.グループ発表	15 : 41	まとめたいけん ぐるーぶごと はっぴょう まとめた意見をグループごとに発表
わーくしょっぷ 10. ワークショップ のまとめ	15 : 56	まとめ (さんかしゃ れい いけん きょうゆう) まとめ（参加者へのお礼と意見の共有）
しゅうりょう あいさつ 11. 終了の挨拶	16 : 00	たぶんかきょうせいすいしんしつちょう しゅうりょうあいさつ 多文化共生推進室長の終了挨拶
あんけーときにゆう 12. アンケート記入	16 : 04	あんけーと きにゆう かいさん アンケートの記入・解散

※日本語レベルが初級以下の参加者は、日本語が上手かつ母語が同じ参加者と同じグループに配置するといった配慮を行う。

#### (4) 配布資料

- わーくしょっぷぶろぐらむ  
・ワークショッププログラム
- く じちかい かつどう さんか  
・区（自治会）の活動に参加しましょう
- ひごろ そな  
・日頃の備えできていますか？
- かじ きゅうじょ きゅうきゅう でんわ  
・火事・救助・救急は「119」に電話してください
- がいこくごばん ぶんべつ あぶり はいしん  
・外国語版ごみ分別アプリを配信しています

- ・外国人のための相談窓口のおしらせ
- ・さいがい&ひなん Q&A
- ・災害時にも「やさしい日本語」を使いましょう
- ・小牧市ホームページを外国語で見ることができます
- ・多文化共生推進プラン
- ・アンケート

(5) おしらせ方法

ワークショップは、下の方法で、周知した。

- ・募集チラシの配架
- ・広報こまき、外国語版生活情報誌、小牧市ホームページ
- ・普段からつながりのある人に、メール

2. ワークショップの結果のまとめ

テーマ・シチュエーション・家族設定をし、小牧市での課題（日本人市民と外国人市民が共に暮らしていく中で、困っていることや、こうしたほうがよいと思うこと）をグループ内で考え、まとめた。

(1) 当日の発表

Aグループ

テーマ：防災

シチュエーション：ペルー人4年前に来日

想定家族	パパ	ママ	子ども	子ども
国籍	ペルー	ペルー	ペルー	ペルー
年齢	37	36	7	5

	困ること、困っていること	できること	こうしたほうがよいと思うこと
本人 家族	避難所がわからない 何を備えておけばいいのかわからない	備蓄用の水を用意しておく 友達に聞く、市民センターに聞く	

	い じしん 地震がきたときの たいおう 対応がわからない	かぐ こてい 家具の固定をしてお く ちく しゅうかいじょ 地区の集会所で ぼうさい はなし き 防災の話 を聞ける といい	
きんじょ ひと 近所の人	がいこく かた こえ 外国の方に声をか けづらい	ふだん 普段から こみゅにけーしょん コミュニケーション をとる ちい えり あ ぼうさい 小さなエリアで防災 くんれん 訓練をする BBQ しながらくんれん 訓練 をする	
しやくしよ 市役所な ど		ぼうさい が い ど たいせつ 防災ガイドは大切な ことをかんたん ことば 簡単な言葉で ひ こ し て つづ 引越しの手続きの とき ぼうさい が い ど 時に、防災ガイドを くばる は ざ こ ど ま っ ぶ ハザードマップの ほんやく 翻訳	

Bグループ

てーま びょうき  
テーマ：病気

しちゅえーしょん とうにょうびょう  
シチュエーション：おばあちゃんが糖尿病

そうていかぞく 想定家族	とう お父さん	かあ お母さん	おとこ 男の子	おばあちゃん
こくせき 国籍	み や ん ま ー ミャンマー	み や ん ま ー ミャンマー	み や ん ま ー ミャンマー	み や ん ま ー ミャンマー
なんれい 年齢	29	26	9	65
ざいりゅうしかく 在留資格	ぎじゅつ 技術	かぞく 家族	かぞく 家族	かぞく 家族
らいにちねんすう 来日年数	ねん 5年	きたばかり	きたばかり	きたばかり

にほんご 日本語	にちじょうかいわ 日常会話	あいさつ 挨拶だけ	あいさつ 挨拶だけ	あいさつ 挨拶だけ
-------------	------------------	--------------	--------------	--------------

	こまる 困ること、困っていること	できること	こうしたほうがいいと思うこと
とお お父さん	びょういん どこの病院？ つうやく ひつよう 通訳が必要 ほけん るー る むすか 保険のルールが難  しい しごと やす 仕事を休まないと せかんどおびにおん セカンドオピニオン だれ そうだん 誰に相談すればいい？ おお びょういん かね 大きい病院はお金 がかかる	かいしゃ そうだん 会社に相談 ゆうじん そうだん 友人に相談	
びょういん 病院	しょくじ 食事 がいこくじんたいおう 外国人対応	しんだん ばしょ そうだん 診断場所の相談に のる	どにち えいぎょう 土日も営業
しやくしよ 市役所 かいしゃ 会社	ほけん 保険（おばあちゃ ん） やす おお こま 休みが多いと困る	ほけん おし 保険について教え る	ほけん てつづ 保険の手続き の説明

## Cグループ

テーマ：日本人と外国人との関係

シチュエーション：外国人が住んでいる隣に、日本人家族が引

つ越してきた

そうていかぞく 想定家族	だんせい 男性	ふうふ 夫婦
こくせき 国籍	にほんじん 日本人	にほんじん 日本人
ねんれい 年齢	だい 80代	だい 40代

どうきょかぞく <b>同居家族</b>	ひとぐ ひとり暮らし	こどもふくかぞく 子供含む家族
------------------------	---------------	--------------------

	こまこま <b>困ること、困って いること</b>	できること	こうしたほうがい いと思うこと
きんじよひと <b>近所の人</b> (にほんじん (日本人))	しず 静かにする じかんたい 時間帯について のルール こうれいしゃしえん 高齢者支援	ほむばーていー ホームパーティー のような食事に 招待する にほんじんけいけんほうふ 日本人(経験豊富 な高齢者等)が、 がいこくこどもたち に日本の遊びを教 える	しず 静かにすべき じかんたいせつめい 時間帯の説明を する
きんじよひと <b>近所の人</b> (ぶらじるじん (ブラジル人))	にほんじんふうふがよる 日本人夫婦が夜 じすすぎけんか 9時過ぎに喧嘩 しておおこえ して大声でどな る	もんだい 問題があれば (まんしょんなど (マンション等)) のやぬし 家主や管理人に はな 話す	やぬし 家主・管理人・ しやくしよ 市役所などの人 にもんだい 問題を話す (にほんじんちやくせつ (日本人と直接 はな 話せない、言葉 のもんだい 問題、知らない、 こわい))
しやくしよ <b>市役所</b>	ひとぐ ひとり暮らしの人 あんびかくにんこま の安否確認(困 っていることこ とがないか等)	ひとぐ ひとり暮らしの老人 をみまわひつ く を見回る日を作る	かんりにんとう 管理人等に るーるとう ルール等を教え てもらおう

## Dグループ

てーま  
テーマ：交通ルール

そうていかぞく <b>想定家族</b>	ちち <b>父</b>	はは <b>母</b>	ちゅうがくせい <b>中学生</b>	しょうがくせい <b>小学生</b>
こくせき <b>国籍</b>	ペルー	ペルー	ペルー	ペルー

ねんれい 年齢	40	35	15	9
------------	----	----	----	---

	こま 困ること、困っている こと	できること	こうしたほうがい いとおも うこと
ほんにん 本人	じてんしゃの 自転車に乗る るーるし ルールを知らない ほこうしゃあんぜん 歩行者の安全 くさすペーすせま 草でスペース狭い どうろせま 道路が狭い ヘルメットをかぶ る じてんしゃほけんかにゅう 自転車保険加入 めんきよとかた 免許の取り方、 るーる ルール くさがたか 草が高くて見にく い	ただにほんごつか 正しい日本語が使 えないため、はな 話し づらい いのちやす 命が安い	
きんじよひと 近所の人			なかよ 仲良くなる もんだいき 問題を聞く、はな 話し あ し合う きんじよひとなかよ 近所の人と仲良 くなる
しゃかい 社会	にほん 日本ではルール をよくまも 守る くさか 草を刈る にほんそうほうこう 日本は双方向が多 い	がっこうじてんしゃ 学校での自転車の るーるおし ルールを教える	ちいきべんきょう 地域での勉強 かいのかた 会（乗り方） かいしゃがいこくじんむ 会社で外国人向 けのせつめい 説明（ルー ル） ほうはんかめら 防犯カメラを せっち 設置する にほんご 日本語のルール

			おし を教える たげんご 多言語の がいだんす ガイダンスを増 やす
--	--	--	--

じょうほう と かた はっしん しかた げんご さほ こと ぶんか る ー る りかい  
 情報の取り方、発信の仕方、言語のサポート、文化・ルールの理解  
 についての<sup>こま</sup>困りごとがあり、それに対して、<sup>たい</sup>当事者や<sup>まわ</sup>周りの人が<sup>ひと</sup>まず  
 できることがないか、どの<sup>ぐる</sup>グループも<sup>こぶ</sup>活発に<sup>かっぼつ</sup>話し合<sup>はな</sup>うことができた。  
<sup>あいて</sup>相手の<sup>たちば</sup>立場に<sup>た</sup>立った<sup>き</sup>気づきがあり、<sup>はな</sup>話し合<sup>あ</sup>いが<sup>ふか</sup>深まった。近所<sup>きんじよ</sup>付き合<sup>あ</sup>  
 いの<sup>たいせつ</sup>大切さや、<sup>たげんご</sup>多言語での<sup>じょうほうはっしん</sup>情報発信、<sup>わか</sup>若い<sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>せたい</sup>世帯と<sup>こうれい</sup>高齢の<sup>にほんじん</sup>日本人  
<sup>せたい</sup>世帯との<sup>こうりゆう</sup>交流<sup>ひつよう</sup>が必要<sup>わ</sup>であることが分かった。

## (2) アンケート

あんけーと  
 アンケートでは、<sup>たぶんかきよせいすいしんぷらん</sup>多文化共生推進プランの<sup>しんちよくじょうきやう</sup>進捗状況のほか、  
<sup>わーくしょっぷ</sup>ワークショップで<sup>さんこう</sup>参考になった<sup>いけん</sup>意見や、<sup>じしん</sup>自身で<sup>かいぜん</sup>改善して<sup>いける</sup>いけることな  
 どについて<sup>しつもん</sup>質問した。<sup>がいこくじん</sup>外国人の<sup>かんがえ</sup>考えや<sup>してん</sup>視点を<sup>ちよくせつ</sup>直接<sup>しる</sup>知ることの<sup>たいせつ</sup>大切  
 さ、<sup>いけんこうかん</sup>いろいろな<sup>ば</sup>意見交換の<sup>じゅうようせい</sup>場の<sup>かいとう</sup>重要性についての<sup>かいとう</sup>回答があった。  
 あんけーと<sup>こうもく</sup>アンケート項目や<sup>しゅうけいけっか</sup>集計結果については、<sup>べっし</sup>別紙を<sup>さんしやう</sup>参照。

### 3. ワークショップの様子(当日写真)

・<sup>たぶんかきよせい</sup>多文化共生の<sup>かつどうほうこく</sup>活動報告

・<sup>げんじやう</sup>現状について





ぐるーぷとうぎ  
・グループ討議

